

甲斐適生活 Information

山梨県へのアクセス



■電車をご利用の場合

◎東京方面

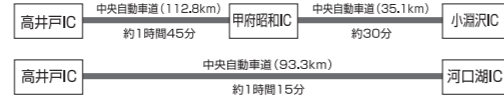


◎名古屋方面

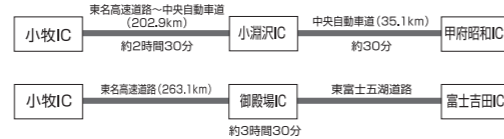


■マイカーをご利用の場合

◎東京方面

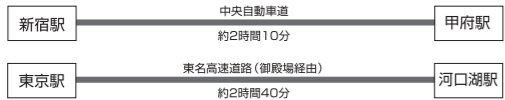


◎名古屋方面



■高速バスをご利用の場合

◎東京方面



◎名古屋方面



甲斐適生活応援隊のホームページ

甲斐適生活応援隊のホームページ「甲斐適生活」は2010年1月に開設予定です。

<http://www.kaiteki-seikatsu.org>

山梨県の田舎暮らし総合サイト

「グリーンカフェやまなし」のホームページをご覧ください。

グリーンカフェやまなし

<http://www.yamanashi-kankou.jp/greencafe/index.html>

やまなし二地域居住推進協議会「甲斐適生活応援隊」

事務局:富士の国やまなし農村休暇協会

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-17 山梨県庁西別館1階

☎055-231-2722 FAX055-221-3040

甲斐適生活応援隊ガイドブック

山梨しLife

01

豊かな自然の中での心地よい暮らしを求めて...

おすすめ
山梨ライフをぜひ紹介!



山梨での田舎暮らしのススメ
二地域居住・山梨の魅力をお教えします!

週末は
山梨に
います。

「やまなし暮らし」を始めませんか。

平日は都会の喧噪の中で暮らす人々が、休日は田舎でリフレッシュする時間を過ごす、そんな「二地域居住」という新しいライフスタイルが人気を集めています。

“やまなし”、それは東京から一番近い田舎。電車や車でわずか2時間足らずの山梨には、大きく深呼吸したくなる豊かな自然が待っています。季節の移り変わりを感じながら、美味しい水と空気に囲まれた生活…、そんな山梨に住んでみたいとお考えのみなさまを、「甲斐適生活応援隊」は全力でサポートします。

「週末は山梨にいます。」そんな暮らしを、あなたもぜひ始めてみませんか。

自然豊かな山梨で暮らす

- 02 癒しとやすらぎに満ちた森の中での生活
- 04 二地域居住14年目にして、夢の「ブルーベリーファーム」を開園
- 06 フルーツ王国・山梨で果樹栽培の夢を実現
- 08 田舎暮らしに憧れるあなたへ山梨で田舎暮らしのススメ
- 10 田舎暮らしの様々なサポート。県と市町村が特色ある支援制度を用意してあなたの田舎暮らしを応援します！
- 12 甲斐適生活応援隊 会員一覧

四季を通じて、さまざまな表情を楽しめる山梨を満喫



富士山、ハケ岳、南アルプスなどの雄大な山並み、富士五湖や昇仙峡に代表される湖や渓谷……。自然がおりなす四季折々の美しい景色は、訪れる誰をも魅了してやみません。「山梨の魅力は？」と尋ねれば、桃、ぶどう、ワイン、温泉…と答えはさまざま。そして、そのひとつひとつが山梨の宝物です。



森に囲まれた山での暮らしはやめられない

Yamanashi Life style 01

癒しとやすらぎに満ちた森の中での生活

山が好きで、動植物の勉強も欠かさない渡邊さんご夫妻。故郷のように足繁く通う“週末の住まい”で自然を体感し、学んでいます。

「とにかく昔から山が好きで、自然溢れる森が好きだったんです」。

以前から休暇などで山梨を訪れ、自然の中を散策するのが大好きだった渡邊さん。そして一緒に歩くうちに、その魅力に気付いた妻・清美さん。

「この家へ来てまず最初にするのが深呼吸。真っ先に体の中の空気も毒素もすべて吐き出して、ここの空気と入れ替えるんです」と清美さん。標高1200メートルの澄んだ空気が胸いっぱい詰まると、それだけで癒されるそうです。いつもご夫妻と共に過ごしている愛犬・龍太君も、ここに来

ることでストレスがなくなるのか、より元気になるといいます。「ここでもいつもと同じように炊事やお洗濯もするんですが、何だか場所が違うだけで特別なコトみたいに感じてウキウキするんですよ」ととても嬉しそうでした。

普段は千葉県流山市にお住まいで、忙しく仕事をされている渡邊さんには、週末のプライベートタイムとしての癒しが欠かせないものになっています。

「仕事が忙しくてあまり来れない時は、仕事の合間にインターネットでこの辺りのライブカメラを眺めています」と照れくさそうに、



山を散策する時はいつも愛犬・龍太君と一緒に

この家への愛しさを語っていました。今の天気は?気温は?など、気持ちはいつもこの家と共にあり、気になってしょうがないそうです。

一年を通して、可能な限り週末や大型連休などには北杜市の我が家へ向かいたいという渡邊さん夫妻。車なら2時間半ほどで到着する近さもポイントです。

森林インストラクターの資格を目指して歩いていく

今年、森林インストラクターの一次試験を見事パスした渡邊さんの嬉しそうな様子を眺めながら、「私も森林インストラクターに合格したいと頑張っているんです。東京での集中講義や講習会などに参加したり、森林研究所で話を聞いたりするのもとても楽しい」と清美さん。

「森の勉強は、ここまで学んだら終わり、ということがありません。森の中や棒道などを散策すると、歩いているだけでたくさんの発見があるから本当に奥が深いです。以前は近場の溪谷や峠などにも興味がありましたが、今はこの家の周りを散策するだけで十分満足してしまうので、そう遠くまでは出掛けなくなりました」。

ただ歩くだけの散歩ではなく、あの鳥がいるということは、この辺りにこういう動植物がある、などと考えながら歩くのがとても楽しいそうです。

自分の家を建てるためとはいえ、森を拓いてしまったことに心を痛め、家を囲むように木を植えた渡邊さん夫妻。「何年掛ってもいい。この地に合う植物かどうかを見極めながら、少しでも、元の『森』に近づけていくいろいろ植えているんです」。

しかし、家のすぐ脇にイノシシの通り道があることに気付いたのは植樹の後でした。せっかく出てきた新芽が何種類か食べられてしまったこともありました。でも、それも含め、森の中での生活を大事にしていきたいのだそうです。渡邊さん夫妻の“休日の住み家ライフ”は、これからもずっと「森の動植物たちとの共存」として続いていくことでしょう。

第2の我が家で非日常なひとときを



仕事の疲れもリセットしてくれるやすらぎの空間



リビングでのホッとするひととき



慣れた手つきで薪割りをこなす

フィールドスコープで野鳥を探すのも楽しみの一つ

Profile

標高1200メートルの我が家では冬の寒ささえ愛しい



渡邊丈夫さん(61) 清美さん(54)ご夫妻 [北杜市]

千葉県流山市と北杜市の二地域居住が始まってから2年半が経過。平日は仕事で忙しい時間を過ごす渡邊さんにとって、休日に山で過ごす時間はリフレッシュのために欠かせないものとなっている。叔母が富士吉田市に住んでいるため、もともと山梨との縁が深い。これから先も足繁く通いたいと目を輝かせる。